

目次

Overview

経営理念(社是)	4
グループ概要	6
社会の進化とともに ～ MHIの歩み～	8

Messages from Management

社長メッセージ	10
---------------	----

サステナブルで安全・安心・快適な社会の
実現に向け、真摯に
経営と向き合う



CFOメッセージ	18
----------------	----

財務基盤の強靱化を通じて
成長戦略の推進を支え、
企業価値の向上を目指します



MISSION NET ZERO

加口副社長 対談： カーボンニュートラル技術の社会実装	24
--------------------------------------	----



特集：MISSION NET ZERO

MISSION NET ZERO



カーボンニュートラル宣言と 三菱重エグループの取り組み	30
エナジートランジション 既存発電システムの脱炭素化	32
データセンター トータルエネルギーソリューション	36

本レポートの発行目的

三菱重エグループは、経営理念である社是に基づき、現在そして将来の社会の課題やニーズに多様な技術で応えることにより、その発展に貢献することで、成長を実現することを目指しています。

その理念を株主・投資家やさまざまなステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、2014年3月期（2013年度）から、経営戦略や業績などの財務情報と、それらを支える経営資源やコーポレート・ガバナンス、リスクマネジメントに加え、当社グループと環境や社会との関係性などの非財務情報を一体的に伝える統合レポートとして、本レポートを発行しています。編集にあたっては、IFRS 財団による「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省による「価値協創ガイドダンス2.0」などを参考にしています。

MHI REPORT 発刊にあたって

本レポートのうち、業績見通しなどに記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、また、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。

実際の業績はさまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、日本の株式相場などが含まれます。

Business Strategies

全体概要	40
エネルギー	42
プラント・インフラ	46
物流・冷熱・ドライブシステム	48
航空・防衛・宇宙	50

Governance & Sustainability

取締役紹介	52
社外取締役による座談会	56



コーポレート・ガバナンス	62
リスクマネジメント	72
コンプライアンス	76
サイバーセキュリティ	77
サステナビリティ	78
気候変動によるリスクと機会への対応 (TCFD提言に沿った開示)	84
経営戦略の実現に向けたHR戦略	86

Performance Data

財務・非財務ハイライト	94
11カ年財務・非財務データ	96
会社概要	98
IR活動の状況	99

表紙

世界最大のCO₂回収プラント(米国)
カーボンニュートラル社会実現に向け、近年CCUS[※]への関心が高まっています。当社は、世界各地で多数の商用プラントの納入実績を有し、CO₂回収設備容量ベースで世界トップシェアを誇ります。三菱重工グループはCO₂回収ソリューションを中心としたCCUSの実現や、さまざまな脱炭素技術、製品・サービスの提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※ CCUS: Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage(CO₂回収・利用・貯留)



情報開示の体系



「MHI REPORT」には、当社をご理解いただくために重要な情報を集約して掲載しています。より詳細な情報についてはウェブサイトをご覧ください。

<https://www.mhi.com/jp/finance/>

重要
↑
↓
詳細
(網羅)

